

平成22年3月16日

社団法人 日本建築学会
関東支部長 新宮 清志 様

株式会社 博報堂

代表取締役社長 成田 純治

株式会社 博報堂DYホールディングス

代表取締役社長 戸田 裕



「博報堂旧本館」に関するご要望について（回答）

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2009年12月18日付けでいただきました要望書につきまして、下記の通り回答申し上げますので、ご理解を賜りたくよろしくお願い致します。

記

1. 建物の現状について

ご指摘の通り、弊社旧本館は岡田信一郎氏の設計による昭和初期の希少な建築物であるとの認識から、弊社としても現在まで丁寧に維持管理・補修に努めてまいりました。しかしながら、全体的な老朽化が進んでおり、耐震強度が十分でなく、外壁部材にも剥落の危険があることが判明しており、近隣の皆様の安全を確保するための改修だけを行うにしても、基礎部分を含めた大規模工事を必要とする状況であります。

2. 検討の経緯

上記の状況から、弊社としては「建物の解体」について、2009年8月より町会を始め近隣の皆様（個人を含め32団体）にその概要を説明しております。説明に伺った皆様全員から、工事実施についてご理解をいただくことができましたため、同年9月1日より、解体予定の建物に「10月1日より解体工事を開始する旨の看板」を掲げ工事の実施を公示致しましたところ、貴学会及び千代田区議会様、社団法人日本建築家協会様より、建物保存に関するご要望を書面にて頂戴いたしました。

以降、貴学会及び日本建築家協会様とは、個別・合同を含めて意見交換を実施させていただき、この過程で、様々な貴重なご意見を頂戴いたしましたが、弊社としてもご要望の一部を受け入れ、また貴学会に弊社の考え方をご理解いただくことで、相互に理解が高まっていったものと認識しております。

加えて、2010年1月23日には「建物見学会」を実施し、「今まで協議にご参加いただけなかった会員の皆様」をお招きし、実施する工事の内容をご説明した上、建物内部を詳細にご覧いただきまして、貴重なアドバイスを頂戴いたしました。

また、この見学会には、錦町三丁目町会の代表（町会会長代行倉田様）を通じ、近隣の皆様にお声掛けいただきまして、実際に建物内部をご見学いただいております。

3. 今後の対応について

今後の対応としては、弊社の現在おかれている経済的状況からして、残念ながら解体を実施させていただくことを予定しております。但し、貴学会及び日本建築家協会様との協議を通じて、皆様からいただきましたご意見、ご要望を踏まえ、建物の文化的・景観的価値を弊社として再度認識した上で、以下の対応を実施していきたいと考えております。

- (1) 第一期建築部分（岡田信一郎氏設計部分。その後の増築部分は除く）について建物記録の作成を実施します。記録内容につきましては、貴学会及び日本建築家協会様と協議の上、決定させていただくことを予定しております。
- (2) 今後、当該地における良好な都市空間の形成に向け、周辺地権者との一体開発を模索する中で、千代田区における歴史的景観資源として有効な復元計画を検討してまいります。

周辺地権者との合意が得られた際に、第一期建築部分について合意内容相応の復元ができるよう、解体前に以下の作業を実施することを予定しております。

- ① 詳細な現況図（立面図、矩計図）を作成します。
- ② 外壁の細かい装飾部分に関しては、復元を精緻に行うため、石膏等を用いて「型取り」を行います。また「型取り」だけでは復元が難しいと考えられる部分については、実物をサンプルとして切り取る「生かし取り」を行います。
- ③ 建物玄関部分については、実物を切り取って再活用することを想定した「生かし取り」を行います。

※1 現況図作成部位、型取り部位、生かし取り範囲につきましては、添付資料に示すとおりです。

※2 復元計画の内容につきましては、貴学会及び日本建築家協会様のアドバイスを頂戴しながら進めていきたいと思っております。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具